

広島アニメーション

だより

広島メディア芸術を発信する情報誌

特集1

広島・呉を舞台にしたアニメーション映画『この世界の片隅に』、いよいよ製作開始！
クラウドファンディングにより支援を募る



往時の中島本町の町並み。正面の大正屋呉服店の建物は現・平和公園レストハウスとして残る。

誠実に広島・呉という地域、そこに暮らす人と向き合う作品づくり。 広島からも応援の声を上げていきたい。

江波で生まれた絵の得意な少女すずは、昭和19年、軍港の町・呉に嫁ぎ、日々を営んでいく……広島市出身の漫画家こうの史代さんの名作『この世界の片隅に』のアニメーション映画が、いよいよ製作開始です。

3月8日、東京阿佐ヶ谷での片瀬須直監督トークショーで呼びかけられ、翌9日にクラウドファンディングによる制作支援募集が始まりました。

作品冒頭で、こども時代のすずは、実家で作る海苔を中島本町の料理屋へ届けるおつかいに出かけます。実際に中島本町に生まれ、今も生存されている方々への聞き取り調査を繰り返し、紡ぎ合わせて再現された賑やかな町並みで、お土産をキャラメルにしようか悩む、すず。その横でヨーヨーを楽しむ少女は、あなたのお母さん、お祖母さんかもしれません。すずは単なる創作上の人物ではなく、あの時代の広島を生きていた人たちの中に佇み、息づいています。

約4年に渡って片瀬監督は、広島と呉で調査（ロケハン）を続けて来られました。その一部は、東京・大阪・広島でのトークショー、舞台である江波・中島本町（平和公園）・呉を探访する探検隊イベントで披露されてきたので、その真摯な内容をご存じの方も多いでしょう。

こうの史代さんが丁寧に大切に生み出した、広島の“たからもの”のような作品が、いま、片瀬須直監督により、映画として新たな生命を得ようとしています。

この作品は
どんな状況に置かれても
『毎日』を生きていく
人間のすばらしさを描く作品です。
(公式サイトより)



主人公 すず

クラウドファンディングは、ウェブ上で自分の気持ちを提供する、いわばネット樽募金とも言えるもの。申込みをすると制作支援メンバー会員となり、進捗情報と、こうの先生描きおろし「すずさんからの手紙」（すぞい！）が届きます。支援金額によってエンドロールへの名前クレジットというお返しもあります。

これまで、私たちは公開された映画を観に行き初めて観客となりましたが、支援に参加して、「未来の観客」となり、映画を生み出す力となる稀有な体験をしてみませんか。

クラウドファンディングは、3月18日午前2時52分、スタートからわずか8日15時間52分という異例の速さで設定目標額に到達しました。この快挙からもアニメーション映画化を望む思いの強さ大きさがひしひしと感じられます。募集は5月29日まで継続中。さらなる支援の拡がり期待されます。

広島からもアニメーション映画『この世界の片隅に』の完成、劇場公開まで、応援を続けましょう。

(文・松浦 妙子)



今年6月にアステールプラザで開催される「広島ゆかりの作家、作品展」で片瀬監督のトークショーを予定

▷公式サイト（制作支援メンバーズサイト）<http://www.konosekai.jp/>
▷クラウドファンディング <https://www.makuaake.com/project/konosekai/>
原作：こうの史代『この世界の片隅に』（双葉社刊 漫画アクション 連載）
監督：片瀬須直
プロデューサー：丸山正雄（MAPPA）、真木太郎（GENCO）
画像 ©こうの史代 / 双葉社・『この世界の片隅に』製作委員会

若い世代の作り手たちの作品上映 将来の飛躍が楽しみ！

広島で映像制作を学ぶ学生・生徒や自主制作グループによる作品を上映する「ひろしま映像ショーケース」が2015年3月14日・15日、広島市映像文化ライブラリー（中区基町）で開催されました。広島国際アニメーションフェスティバル応援事業の一環として開催されたこのイベントでは、若い世代の作り手たちの才能が随所に輝きを見せ、若者たちの将来が大いに期待される上映会になりました。また上映会に合わせて、昨年夏に開催された第15回広島国際アニメーションフェスティバルの優秀作品上映や記録写真の展示も行われました。

大学からは、細胞内の生態活動をコミカルに表現した『ジュンカン』（広島市立大学芸術学部デザイン工芸学科・東由佳）や社会の中で消耗する現代人を表現した『SHIAWASENARA TE WO TATAKOU』（比治山大学短期大学部美術科・松葉千織）などをはじめ、様々な視角や多様な技法によってアニメー

ションの表現に取り組む意欲作が出品されました。専門学校からは、ストーリー性とキャラクター性の豊かな『もみじ君とうさぎのびょん太』（代々木アニメーション学院広島校）や子どもの頃の記憶を取り戻そうとするおもちゃを描いた『precious memories』（穴吹学園穴吹デザイン専門学校・中林健）などの作品が出品されました。高校からは、言葉（コトバ）の持つ力によって争いを乗り越え平和を希求する『コトダマ』（基町高校創造表現コース）が、また、中学校からは、平和都市・広島をテーマにした作品が二葉中、庚午中、大塚中、美鈴が丘中、大州中、戸坂中学校から寄せられました。今回の上映会では、描画だけでなく、クレイやCG、サンド（砂）などの多様な技法を用いた作品の数々が上映され、広島の若者たちの技術レベルの向上が実感される上映会となりました。



『ジュンカン』



『SHIAWASENARA TE WO TATAKOU』



『コトダマ』



ショーケース展示



トークショーの様子

アニメーション作家・はしもとまさむ氏をお迎えしました

「ひろしま映像ショーケース」（2015年3月14日、広島市映像文化ライブラリー）の特別ゲストとして、はしもとまさむ氏をお招きし、作品の上映とトークが行われました。はしもと氏は、第18回アニメーション神戸オリジナルアニメーションアワード最優秀賞を受賞されたり、今春からNHKのEテレ・プチプチ・アニメで「ビーズの森のらびい」という作品が放映されたりするなど、気鋭のアニメーション作家です。広島の不動産会社のCMシリーズに参加されたほか、第15回広島国際アニメーションフェスティバル「現代日本のアニメーション」プログラムでの作品上映など、広島にも縁があります。作品を観て

くださっている方に驚きと感動を与える方法を常に追求されているとのこと。ゲーム会社での勤務や町工場でのお仕事などのさまざまなご経験が創作活動にも活かされているなど、ご自身の制作方法やご自身の活動の来歴などについて詳しく語って頂きました。氏のこれからのご活躍から目が離せません。

聞き手／岡川卓詩・広島国際学院大学情報文化学部情報デザイン学科講師



Fireworks Beads
© はしもとまさむ

ひろしま映像ショーケース 上映リスト 3月14日・15日

【3月14日】広島生まれのアニメーション

- 広島市立二葉中学校
 - ・ひろしまの空（制作／1年生 2014年）
 - ・ねがい（制作／美術部 2014年）
- 広島市立庚午中学校 美術部
 - ・ねがい（2012年～2014年）
- 広島市立大塚中学校 美術部
 - ・ねがい（制作／美術部 2014年）
- 広島市立美鈴が丘中学校 美術部
 - ・平和の手紙～広島から世界へ～（制作／美術部1年生 2014年）
 - ・身近な平和（制作／美術部2年生 2014年）
 - ・LOVE～世界中の愛～（制作／美術部3年生 2014年）
- 広島市立大州中学校 美術部
 - ・路面電車でつなぐ私たちの広島（2014年）
- 広島市立戸坂中学校 美術部
 - ・広島CM（2014年）
- 広島市立基町高等学校 創造表現コース
 - ・コトダマ（2014年）

- 穴吹学園 穴吹デザイン専門学校
 - ・不思議な生物のいる日常（監督／土居奈奈 2015年）
 - ・ファンタジードリーム（監督／森田尚幸 2015年）
 - ・Story（監督／北田アレックス 2015年）
 - ・precious memories（監督／中林健 2015年）
- 代々木アニメーション学院広島校
 - ・もみじ君とうさぎのびょん太（2015年）
- 比治山大学短期大学部 美術科
 - ・こびるねこ（監督／植原尚史 2015年）
 - ・となりの町まで（監督／平山未令 2009年）
 - ・忘れられないひと、生まれてくるひと（監督／小川果穂 2013年）
 - ・AXEL（監督／山本真美 2010年）
 - ・うつつ（監督／増田萌衣 2015年）
 - ・SHIAWASENARA TE WO TATAKOU（監督／松葉千織 2015年）
 - ・アニメリズム（監督／加島美恵 2012年）
 - ・ゴテハン（監督／水野洋輝 2011年）

- 広島市立大学 芸術学部 デザイン工芸学科
 - ・GROOVE BOYS（監督／秋本和太 2014年）
 - ・ホイップ（監督／のぐちるか 2015年）
 - ・めいそう（監督／川本瑞季 2014年）
 - ・声命-SEIMEI-（監督／平原愛理 2015年）
 - ・クックパッド（監督／廻船洋 2015年）
 - ・ジュンカン（監督／東由佳 2015年）
 - ・夢／現（監督／河野佑香 2015年）
 - ・おさん狐の物語（制作／映像メディア造形研究室2年合作 2015年）
- 第15回広島国際アニメーションフェスティバル優秀作品上映（その1）

【3月15日】広島生まれのドラマ

- 広島市立美鈴が丘高等学校 放送部
 - ・ジェラシー・ワルツ（監督／伊藤真彩 2014年）
- 広島工業大学 映画研究部
 - ・勇者と魔王のPS4戦争（監督／澤圭祐 2014年）
- Quest Movie Factory(QMF)
 - ・ぬばたま（監督／吉松幸四郎 2014年）
- 第15回広島国際アニメーションフェスティバル優秀作品上映（その2）

Topic

1 メディア芸術振興プロジェクトプロジェクト会議開催！

2015年1月29日に広島メディア芸術振興プロジェクト会議がアステールプラザ（中区加古町）で開催されました。この会議は広島のメディア芸術（アニメーション、マンガ、映画、コンピュータ等を利用した芸術）に関わる大学、専門学校や行政、企業、市民団体などが幅広く参加し、広島のメディア芸術を発展させていくことを



プロジェクト会議

目的としたものです。まずは15団体、27名が参加を表明。初会合となったこの日は参加者のこれまでの活動紹介のほか、今後の活動の提案が活発に議論されました。

我が国のメディア芸術（アニメーション、マンガ、映画、コンピュータ等を利用した芸術）は、優れた文化的価値を有し、世界的にも高く評価されています。これらは文化振興やコンテンツ産業、観光などに大きな効果が期待されています。

広島市においても、広島国際アニメーションフェスティバルの継続開催やまんが図書館、映像文化ライブラリー等のメディア芸術に関連した様々な活動が行われています。これらの活動実績を街のにぎわいや地域活性化、さらには次世代の人材育成につなげていく取組を検討し進めて行くことも、このプロジェクト会議のねらいです。呼びかけ人の岡田高旺・広島市文化振興課アニメーションフェスティバル担当課長は、「皆さんと知恵を出し合いながら、広島の魅力向上につなげて行ければ」と意気込みを表明。

広島のメディア芸術に関連して今後ますます様々なイベントが企画されていくことでしょう。メディア芸術を通じて街を面白くするこの試み。ぜひご注目下さい。

Topic

2 八丁座 映画図書館

映画を観る前の待ち時間、観賞後の余韻に浸りに。

映画評論家花本マサミ氏のコレクションを中心に公開している映画専門の図書館。俳優、映画作品関連の書籍、懐かしいパンフレットやポスターの他、雑誌「キネマ旬報」は常時最新号が置いてあります。映画の公開に合わせた雑誌やポスターなどの企画展も行われています。八丁座やサロンシネマ、シネツインで映画を観る前の待ち時間、上映後の余韻に浸るのにもってこいの場所。監督や俳優をより深く知ることで、映画がさらに楽しめそうです。



場所：中区胡町6-26
福屋八丁堀本店10F
開館：11:00～17:00
定休日：火曜日 入館料：無料
TEL：082-546-9113
WEB：有り

Pick up

教員・指導者向け教本「アニメーション、マンガの教え方」

広島市と比治山大学・比治山大学短期大学部が、中学校及び高等学校の美術教員向け教本「アニメーション、マンガの教え方」を作成しました。教本は、市内の全中学校及び市立高等学校に配布します。アニメーションやマンガを学びたい生徒はたくさんいますが、それらを中学や高校の美術教育の中で専門的に教えることは難しいのが現状です。こうした生徒や指導者を応援する目的で教本が編集されました。教本には、アニメーションとマンガの仕組みや制作方法等の具体的な解説に加えて、学校現場でそのまま活用できる型紙やワークシート、評価規程が掲載されており、とても実用的な内容となっています（A4サイズ56ページ）。



「広島国際アニメーションフェスティバルが開催されるこの広島で、一人でも多くの生徒がアニメーションを作れるようになればという思いで執筆しました」とアニメーション編を担当された宮崎しずか先生は語られます。同じく、マンガ編を執筆した久保直子先生は、「キャラクター・効果・ストーリーというマンガの基本的要素から分かりやすく解説しているので、マンガ好きの学生さんたちに使ってもらえる本に仕上がりました。これからも現場の意見を頂きながら内容をさらに充実させたいですね。」と語られました。

学校現場だけでなく、子ども会やサークル活動などでも幅広く活用できるものとなっていますので、教本（データDVD）をご希望の方は下記にお問い合わせください。

広島市市民局文化スポーツ部文化振興課分室（アステールプラザ内）
電話番号：082-245-0245 FAX：082-504-5658 E-mail：hiroanim@hiroanim.org

アニメーション編
監修：山村浩二
マンガ編
監修：こうの史代
協力：村上たかし・西島大介



イベント情報

第16回広島国際アニメーションフェスティバルの開催日決定！

「愛と平和」の精神のもと、2年に一度開催されている広島国際アニメーションフェスティバル。世界四大アニメーション映画祭の1つとして1985年以来、世界中から注目され続けています。

2016年8月18日(木)～22日(月)

アステールプラザ 〒730-0812 広島市中区加古町4番17号

日本マンガ学会広島大会

広島メディア芸術振興プロジェクト ～広島ゆかりの作家、作品展

被爆70周年の今年、「戦争とマンガ」をテーマに、広島で初めて日本マンガ学会が開催されます。関連事業として、広島ゆかりの作家や作品を紹介する展示やトークショー、サイン会などを開催します。

2015年6月27日(土)、28日(日) 詳細は後日HPで

アステールプラザ 〒730-0812 広島市中区加古町4番17号

呉子ども祭りで広島国際アニメーションフェスティバルがブース出展！

子ども向けにバラバラアニメーションや驚き盤のワークショップなどを行います。

2015年5月4日(祝) 9:30～16:00(予定)

呉ポートピアパーク 〒737-0875 呉市天応大浜3丁目2-3



比治山大学 アニメーションスタジオツアー

2月17日～19日

比治山大学の映像・アニメーションコースの1、2年生の希望者でアニメーションスタジオの見学ツアーに行きました！なかなか見られない、商業プロダクションの現場や作家として1人で制作されている現場、撮影所などを巡る2泊3日の旅です。

1日目は、攻殻機動隊などで有名なプロダクション I.G と、アカデミー賞にもノミネートされたアニメーション作家で本学客員教授の山村浩二さんのスタジオへお邪魔しました！

小雨の降る中、総勢10名は遅刻することなく(早すぎて時間待ちするくらい)お行儀よく集合。いざプロダクション I.G へ！

案内してくれたのは、プロダクション I.G 企画室 上田さん。

実は、この方比治山大学短期大学部美術科彫刻出身だったんです！

みんな一気に親近感がわき、アニメプロダクションで活躍する先輩に質問



山村浩二さんのスタジオ

や悩みをぶつけます。全ての質問に真剣で親切にテキパキ教えてくれる上田さん！現場で鍛えられたかっこいい先輩の言葉の重みにみんな感動です。スタジオ内も丁寧に案内していただき、アニメーターの方による実践手描きを間近で見せていただきました。

(比治山大学短期大学部美術科 宮崎しずか)

募集

パラパラアニメーションコンテスト 2015 作品募集中！

【対象・部門】

①未就学児、②小学校1～4年生、③同5、6年生、④中学生

【応募方法】

パラパラアニメーションのオリジナル作品(30～60枚程度)の表に作品名、応募用紙に作品名、住所、氏名、年齢、電話番号、学校名・学年、応募部門を記入し、5月22日(金)(必着)までに広島国際アニメーションフェスティバル実行委員会へ郵送で提出。応募用紙は、同委員会HPなどで入手できます。

作品は、平成28年開催の同フェスティバルで展示。入賞作品は動画に変換して同フェスティバルで上映します。

【応募先】 広島国際アニメーションフェスティバル実行委員会事務局

〒730-0812 広島市中区加古町4番17号

TEL: 082-245-0245 HP: <http://hiroanim.org>

比治山大学短期大学部 美術科
マンガ・キャラクターコース

映像・アニメーションコース

山村浩二 客員教授

授業進行中！

客員教授 こうの史代原作
「この世界の片隅に」
アニメーション映画製作中！

●私たちは広島市と連携して若い才能を発掘育成します●

発行日：2015年3月20日 発行部数：4000部 発行：広島市市民局文化スポーツ部文化振興課
編集：NPO法人広島アニメーションシティ(HAC) デザイン：広島国際学院大学 情報文化学部 岡川研究室
【紙面についてのお問合せ】NPO法人広島アニメーションシティ事務局
〒739-0321 広島市安芸区中野6-20-1 広島国際学院大学 情報文化学部 谷口研究室内
<http://hac.or.jp> Email: hac-jimu@hac.or.jp TEL: 082-820-2710 / FAX: 082-820-2723

メディア芸術に関する情報やご意見を募集しています



平成26年度 文化庁 地域発・文化芸術創造発信イニシアチブ